

立川市立新生小学校 授業改善推進プラン

<今年度重要項目>基礎・基本の定着

<低学年>指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	児童の実態 (○よいところ ●課題)	具体的な授業改善策(今年度の重点)
国語	○音読に意欲的に取り組める児童が多い。	・一斉読みや丸読みなど、様々な形態の音読を取り入れ、場面の様子が分かるような音読をする。
	●語彙が十分でない。書いてあることを正確に読み取ることに課題のある児童がいる。	・音読の後に書かれていたことを確認する。また、絵や写真の提示、動作化を通して、言葉の意味理解を促し、書いてあることが正しく読めるよう指導を続ける。
算数	○計算問題に意欲的に取り組む児童が多い。	・意欲が継続できるよう、具体物を使い視覚的にも分かりやすいように指導する。
	●文章問題の内容を正確に読み取ることに課題のある児童がいる。	・文章問題を読み「分かっていること」「聞かれていること」「計算の仕方が分かるキーワード」を示す言葉を確認し、印を付けさせる。 ・文章を、図や表などに表して式と関連付けられるようにする活動を取り入れる。
生活	○自分のアサガオや野菜に愛情をもちながら育てることができる。	・植物の育て方を本で調べたり、映像を見たりして、興味・関心をさらに高め、気付きを表現するまでの活動を計画的に設定する。
	●動植物に関して、興味や関心をもてる児童は多いが、気付きや発見に課題がある児童がいる。	・生き物探しやアサガオの観察を複数回行い、興味や関心を高める。 ・身近な自然や水辺に住む生き物を探したり、細かく観察したりする機会を多くするとともに、気付きを表現する活動の充実を図る。
音楽	○拍の流れを感じ取ってリズム表現をしたり、楽器を演奏したりして、音楽表現を楽しめる児童が多い。	・「表現することが楽しい」⇔「技能や知識を身に付けたい」という相互の経験を積み重ね、「どのように演奏したいか」について、児童が個々の思いをもてるような学習展開にする。 ・工夫するための引き出しを低学年から積み重ねていくようにする。
	●鍵盤ハーモニカの演奏や歌唱表現に取り組む時間が少なく、技能面での個人差がある。	・演奏の基礎・基本となる様々な活動(リズム打ち、階名読み、階名唱など)を取り入れ、少ない時間でも音出しの確認ができるようにする。 ・一人一人の習熟を見届けられるようにし、個別指導を積極的に取り入れるようにする。
図画工作	○表現することを楽しむ児童が多い。また、指導したことを素直に受け止め取り組む姿が見られる。	・やってみたいと思うような素材、題材の設定をした。さらにそれを実演したり、見本や手順を示したり、視覚化することで、やり方やゴールを明確にしていく。
	●絵の具の溶き方や筆の使い方、色の塗り方に課題のある児童がいる。	・ICTを活用し、使う絵の具や水の量を写真や映像で提示したり、教師が溶いた絵の具を使って濃さを確認させたりする。
体育	○体を動かすことが好きな児童が多く、積極的に運動に取り組むことができる。	・休み時間の外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。 ・目標とする動きやタイムを提示することで、めあてや見通しをもたせながら取り組ませる。
	●体を大きく使って運動することに課題のある児童がいる。 ●遊具や道具を用いて遊ぶことに課題のある児童がいる。	・写真や映像を活用し、ポイントとなる動きを視覚的に確認できるようにする。 ・体のいろいろな使い方を覚え、遊具で遊んだり道具を巧みに扱ったりする技術を身に付けられるようにする。